取組事例　中山間地域におけるスマート農業を導入するための条件整備

（芦別市）

芦別市では、農業従事者の高齢化に伴う担い手の減少、労働力不足など様々な課題に直面していることから、省力化や高品質・低コスト生産が期待できる中山間地域に合ったスマート農業を推進するための実証試験等を実施し、持続可能な地域農業を目指している。

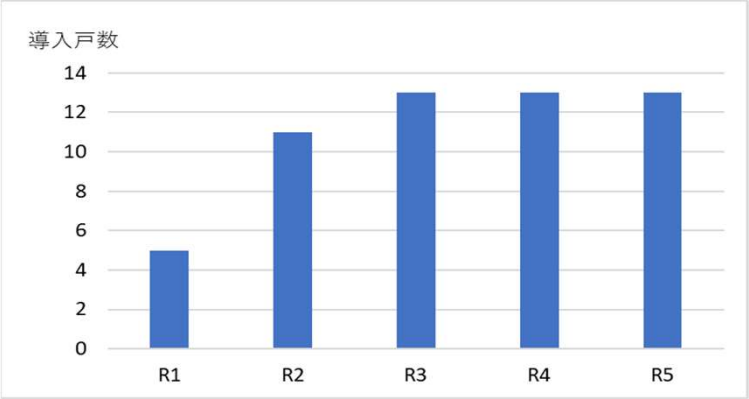
関連数値目標・KPI

	基準値（R元）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
スマート農業導入戸数	5戸	13戸	10戸	130%

取組の運営体制

近年の農家戸数の減少に伴う経営規模の拡大や生産者の高齢化等に伴う労働力不足等に対応するため、地理的条件や営農体系に即したスマート農業技術の調査研究と効果的な技術の利活用を検証することを目的に、ＪＡ等の関係団体や生産者らで構成する「芦別市スマート農業推進協議会」を立ち上げ、適切な役割分担の下、取組を実施。

スマート農業機器の導入状況



導入戸数は鈍化傾向であるが、今後は導入に対しての支援制度を整備するなど、更なる推進を図る。

取組事例

実証試験・意向調査によるスマート農業の推進

○主な取組
- 生産者と関係機関との連携により、スマート農業機器による実証試験及び実演会。
- 生産者を対象としたスマート農業に関する意向調査。

○主な成果
- 中山間地に適したスマート農業機器の効果と課題の把握。
- 生産者へ取組みやすいスマート農業技術の情報を提供。
- 生産者の意向を踏まえた目指すべき地域農業の把握。

農薬散布ドローン

ハウスモニタリング装置

ラジコン草刈機

ラジコン草刈機実演会